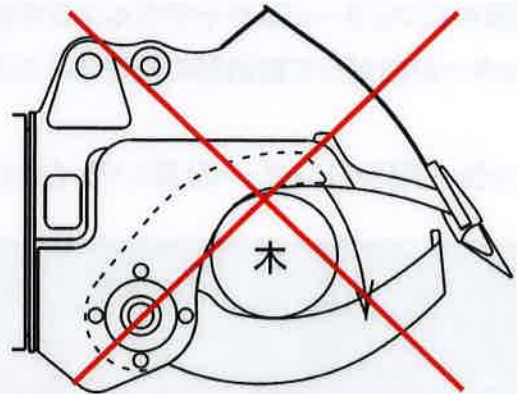
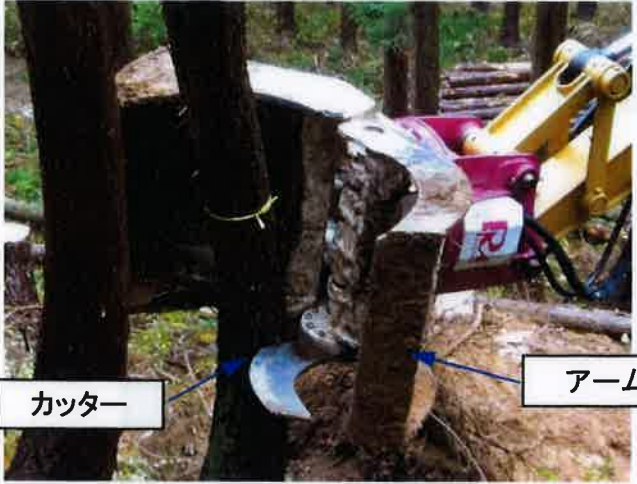


フェラーバンチャザウルスロボによる伐倒作業方法

1. アームとカッターを開きます。



※木を掴んだ状態でカッターを開くと油圧機器が破損しますので、絶対にしないで下さい。

2. フェラーバンチャザウルスロボを切断位置につけて、直角度を合わせます。

※カッターの可動範囲内に岩石等、切断する木以外の堅いものがないことを確認して下さい。木以外のものを切断すると、カッターの切れが悪くなります。



3. フェラーバンチャザウルスロボを木に押しつけます。



※木を押し倒す気持ちで押しつけるときれいに切断できます。

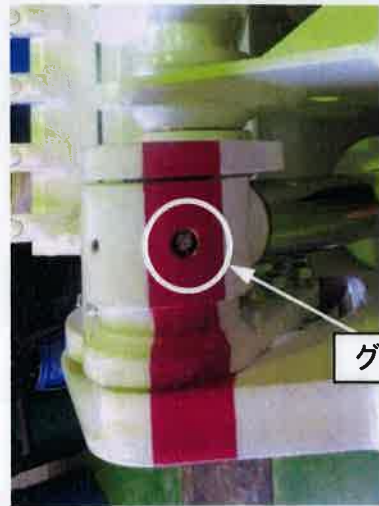
4. アームを閉じて、木を掴みます。

5. カッターを閉じて木を切断します。

※切断中にフェラーバンチャザウルスロボを動かさないで下さい。

カッターが曲がって格納部の壁を切りつけ、カッターの切れが悪くなります。

6. カッター用シリンダーの赤いラインが揃うと切断完了です。



グリスニップル

※ 切断完了すると、上記の位置にグリスニップルが見え、赤のラインが揃います。

7. アームを少し開きます。(50ミリ程度)

8. フェラーバンチャザウルスロボを上を移動させ、木を掴み直します。

※こうすることで、木の切断部分の破損を防ぎ、安定して木を動かすことができます。

9. 木を切断後、危険を感じたらアームを開いて下さい。



1~2m上に移動させて掴み直す。

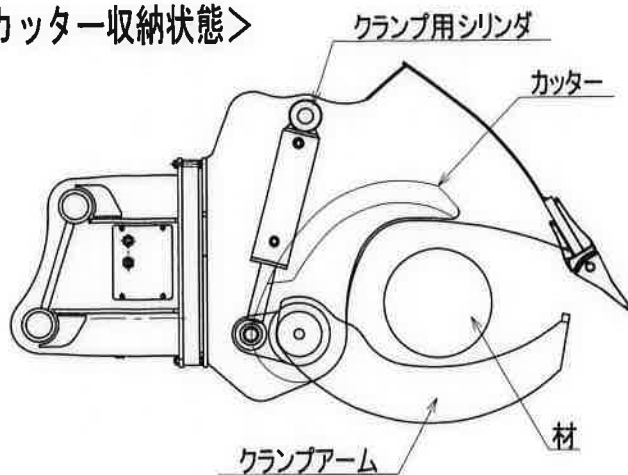


伐倒した木を切断する場合は、切り口より30cm以内では切断しないで下さい。カッターが曲がって格納部の壁を切りつけ、カッターの切れが悪くなります。

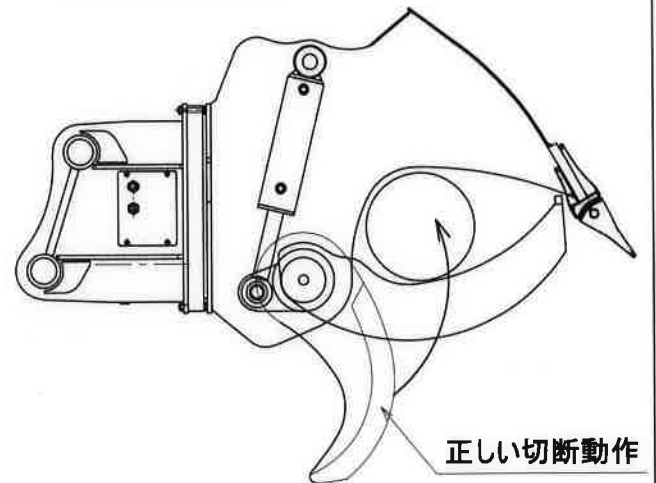
30cm以上の長さをとること

<アタッチメントカッター誤操作によるバルブ破壊について>

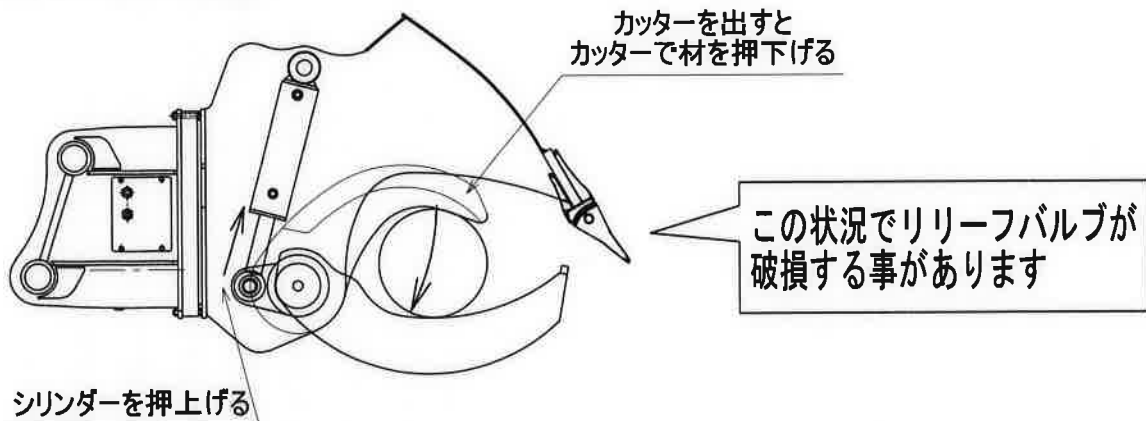
<カッター収納状態>



<正しい使用状況>



<カッター押下げ状態>



カッターを収納し、材をクランプした状態でカッターを出す操作を誤って行うとカッターが材を押し下げ、材がクランプアームを押し下げます。

この操作を行うとクランプ用シリンダに押上げる（縮む）方向に多大な力がかかります。
70Mpa以上の圧力がかかります。

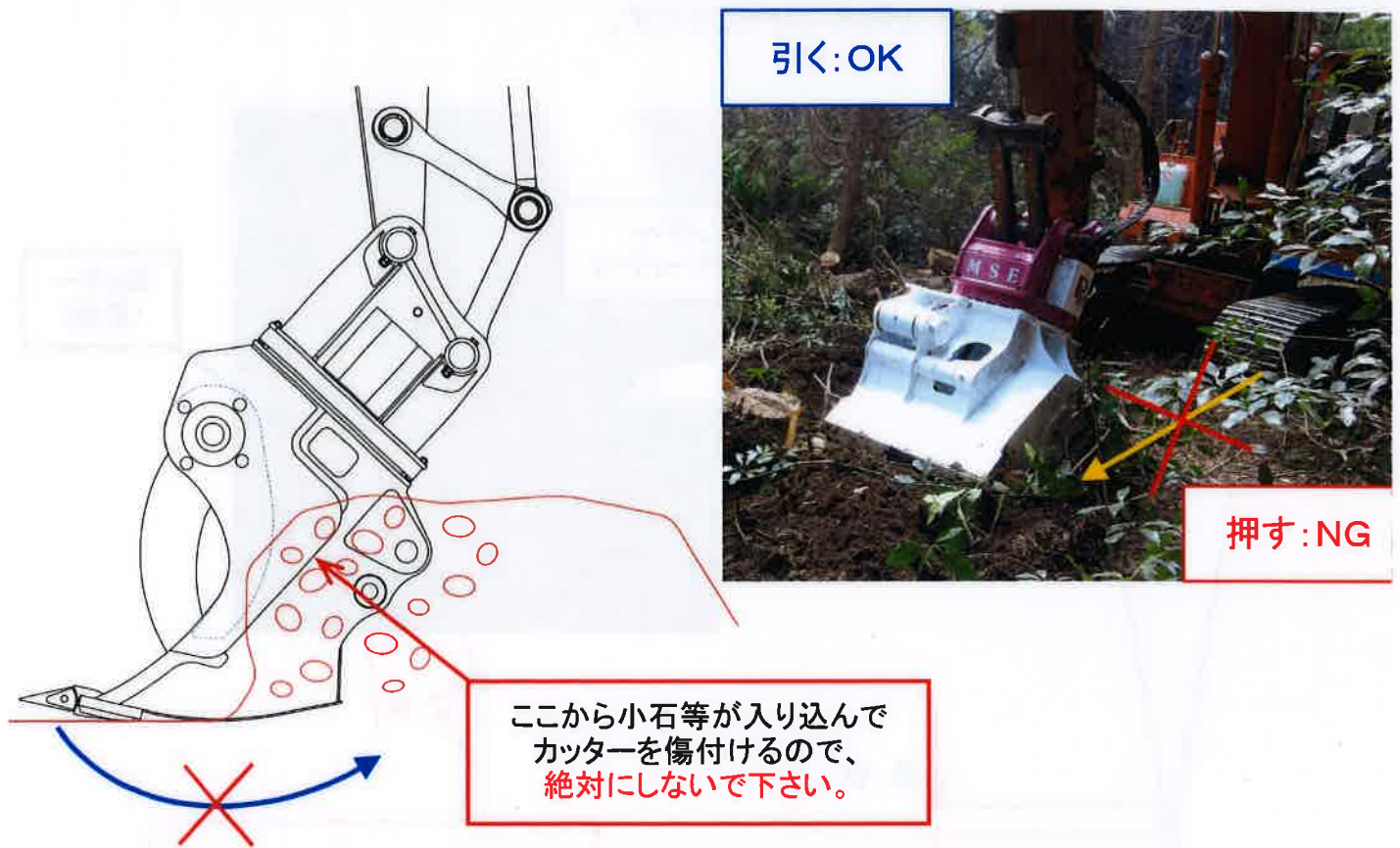
シリンダーのロッド側は真空状態に、ボトム側は異常加圧状態になります。
この結果、クランプ用リリースバルブ本体やシール材が破損する事があります。

加工・製作上の問題で無い場合は保証の対象外となりますので、

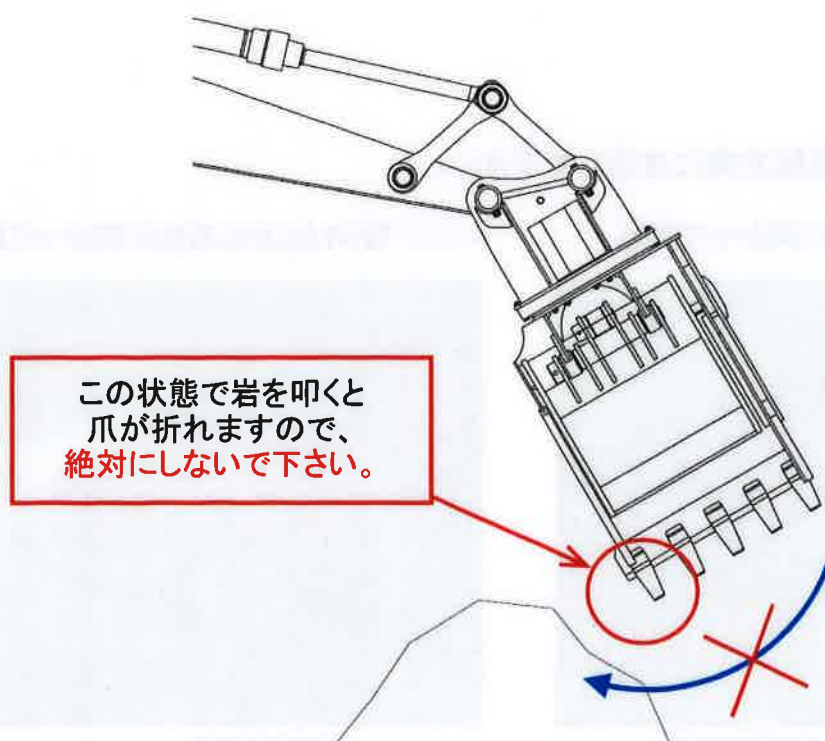
上記操作は行わないようにお願いします。

フェラーバンチャザウルスロボ 操作時の注意（禁止操作）

下図の矢印の方向にバケットを動かして地慣らしをしな~~い~~で下さい。
カッター収納部の内側に小石等が入り込んで、カッターを傷付ける恐れがあります。



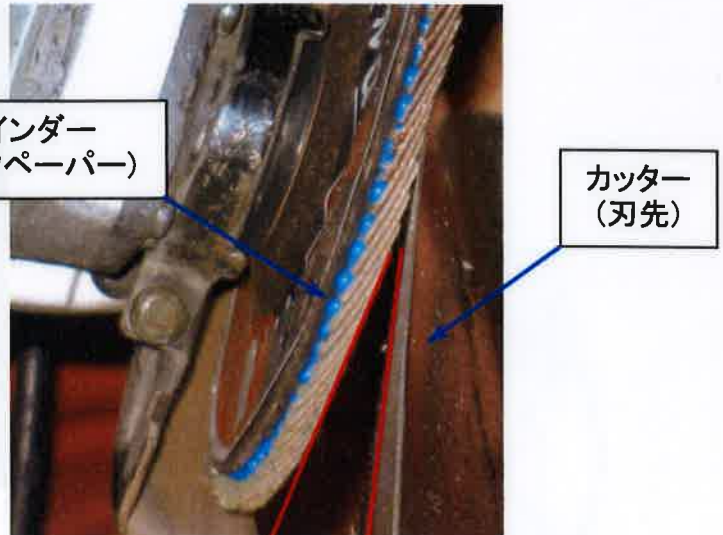
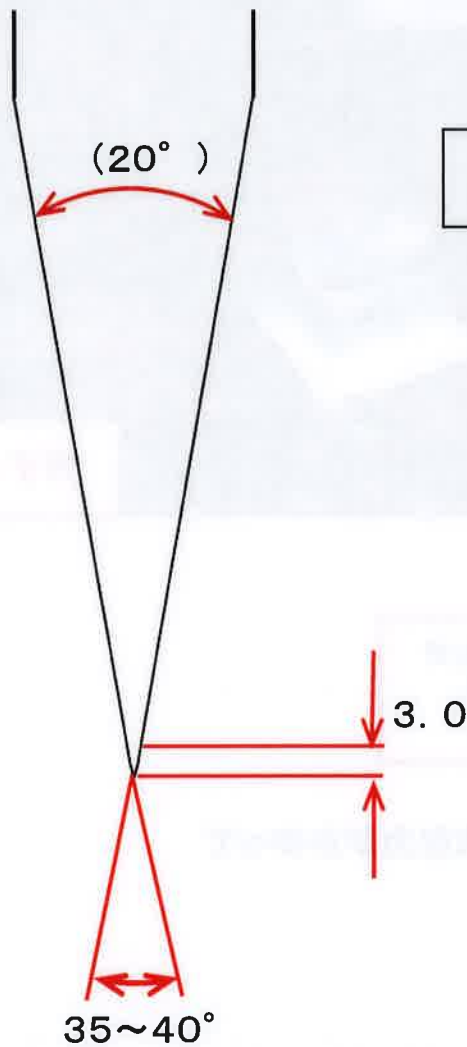
バケットを傾けた状態で岩等を叩くと、爪1本に過大な力がかかって爪が破損する恐れがあります。



フェラーバンチャザウルスロボ カッター刃先の研ぎ方

カッターの刃先は充電式グラインダー(またはヤスリ)を使い、1週間に1度くらいの頻度で研いで下さい。

下図のように刃先から3ミリの部分を研ぎますが、ナイフのように鋭利に研ぐ必要はありません。ハーベスターの刃先と同等でけっこうです。

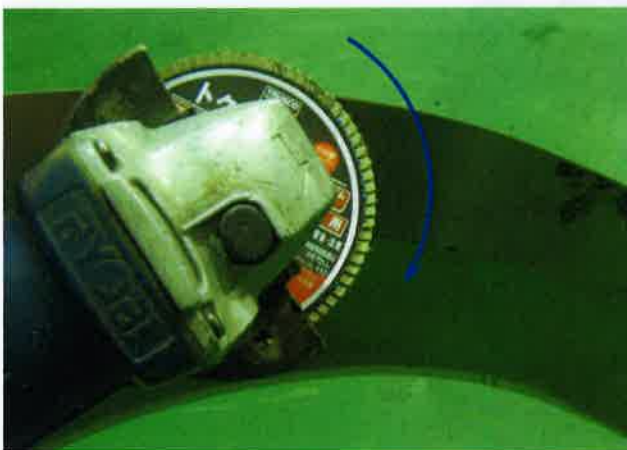


刃面から $10 \sim 20^\circ$ 傾けて
研磨のこと

グラインダーで研ぐ場合、回転方向に注意して下さい。

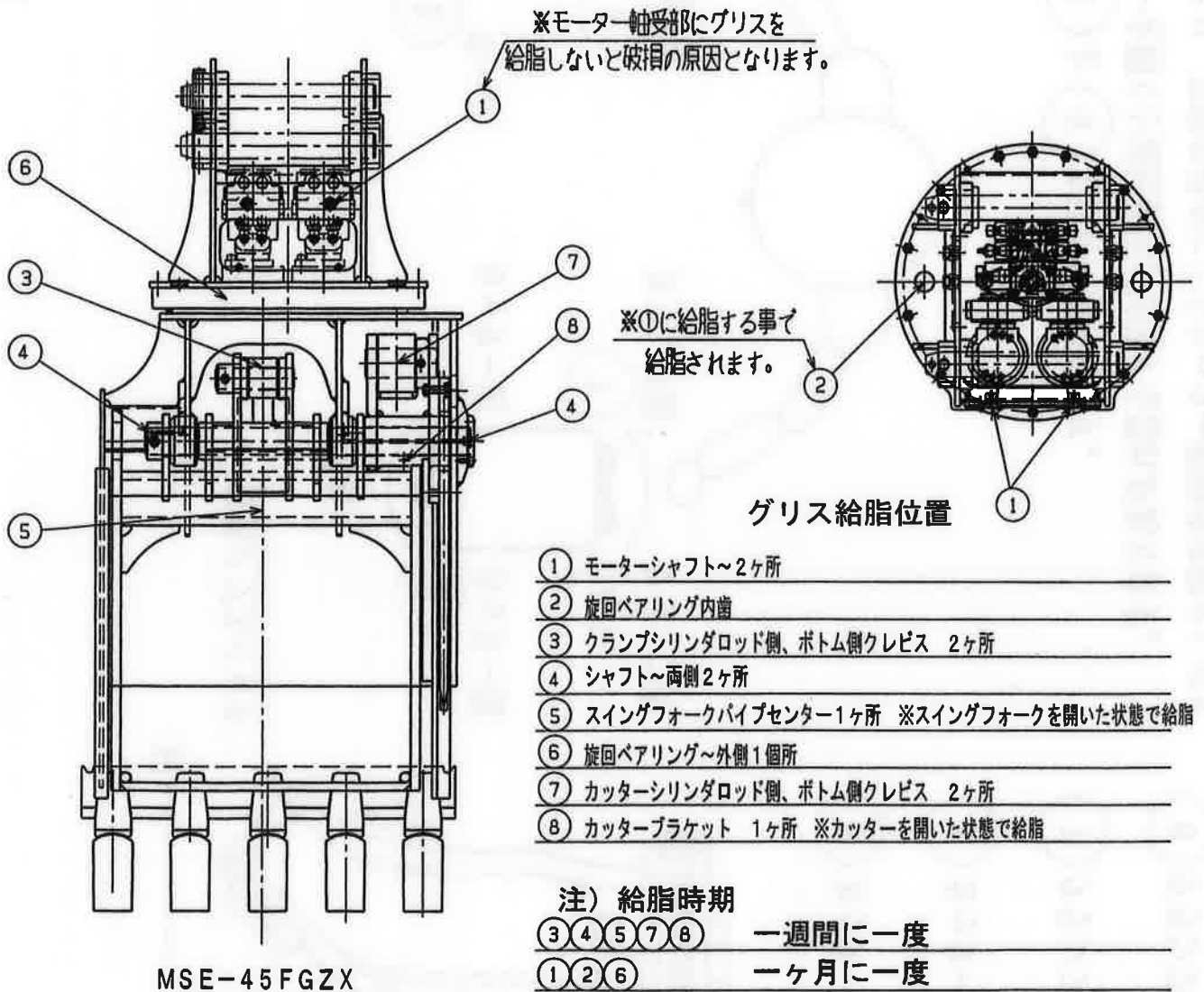
○(正): 刃先から背(みね)に向かって回転

×(誤): 背(みね)から刃先に向かって回転

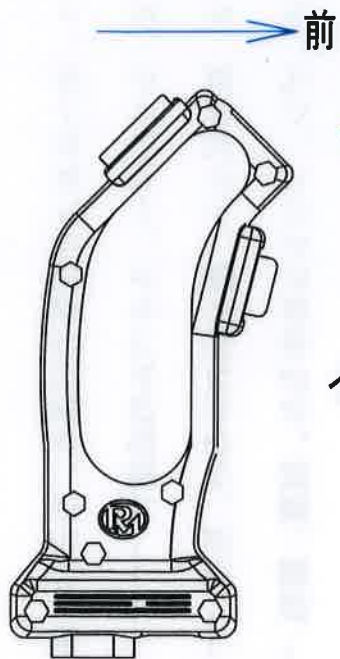


回転方向を誤ると、きれいに研ぐことができません。

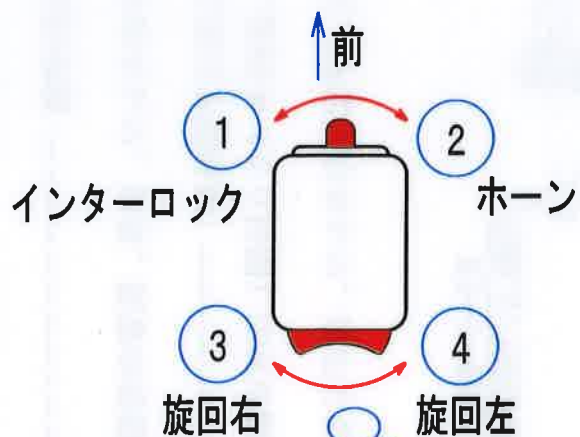
1. ホースおよび配管の油漏れ、ゆるみ、傷 ----- 日常点検
2. シリンダー、スィベルの油漏れ ----- 日常点検
3. 取付ボルト、継手類のゆるみ、脱落 ----- 日常点検
4. ピン、ブッシュのゆるみ、脱落、摩耗 ----- 日常点検
5. 各部の給脂状態 ----- 日常点検
6. 装置本体のキレツ、変形、異音の確認 ----- 日常点検
7. 給脂（位置は下図参照） ----- 月例検査
注）慣らし運転中（50時間）は毎日給脂して下さい
8. ホースおよび配管のキレツ、曲がりなど ----- 月例検査



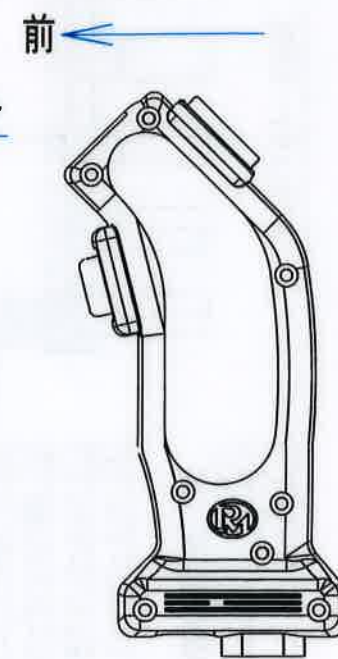
フェラーバンチャザウルス ノブスイッチ操作要領



左側ノブスイッチ



右側ノブスイッチ



① インターロック

② ホーン

③ 旋回右

④ 旋回左

⑤ カッター閉

⑥ カッター開 ※

⑦ クランプ閉

⑧ クランプ開

※カッターを開く際は ① と ⑥ を同時に操作します。

木を掴んだままカッターを開くと油圧機器が破損する恐れがあります。

① インターロックにより、不意の操作によるカッター開動作を防止します。